

## 【町史年表】

西 暦	年 号	事 項
686～	持統天皇	蓮台寺が建立される
700	朱 鳥	
713	和銅 6	この頃、尾張国・葉栗郡の国郡名が決まる
752	天平	東大寺領葉栗莊が成立する
	勝宝 4	
775	宝亀 6	美濃・尾張・伊勢の三か国が風水害の大被害をうける
865	貞観 7	菅野弟門が尾張介になる
866	8	広野川事件が起きる
1156～	保元～	
	平治	この頃、松枝保(莊)が成立する
1159		
1189	建久 元	この頃、松枝莊が源頼朝の妹婿の所領となる
1192	3	上門真莊・藤掛莊が長講堂領になる。この頃鎌倉街道ができる
1220	承久 3	この頃、田代・喬島・揚津の御厨が成立する
1225	嘉禄 元	この頃、浄土真宗が笠松の地に広がる
1235	嘉禎 元	河野九門徒木瀬の草庵に親鸞上人を迎える
1238	4	將軍源頼経が鎌倉街道を上洛する
1432	永享 4	將軍足利義教が鎌倉街道を上洛する
1470	文明 2	蓮如が木瀬に草庵を再建する 蓮如が河野六坊所蔵親鸞上人絵伝の裏書きをする
1501	文亀 元	森可行(泰可)蓮台城に住む
1549	天文 18	富田村正徳寺(聖徳寺)にて道三・信長が会見する
1565	永禄 8	森可成が蓮台城から鳥峰城(可児郡兼山町)に移る
1568	11	信長、足利義昭を立政寺に迎える 信長加納市場に楽座の制札をかかげる
1582	天正 10	森蘭丸・坊丸・力丸が本能寺の変で戦死する
1584	12	豊臣秀吉が円城寺に筏支配に関する禁制を発給する 羽栗郡美濃国に編入
1586	14	木曾川大洪水により河道が現在位置に変わる 池田輝政が円城寺市場を保護する
1589	17	この頃までに、当地域が尾張国から美濃国に編入される
1593	文禄 2	八人衆が野方を開拓する
1600	慶長 5	米野の戦い
1617	元和 3	笠松に往來人馬問屋が設けられる
1650	慶安 3	笠松に休憩所が設けられる
1661	寛文 元	笠松市が開かれる
1662	2	名取美濃郡代が徳野陣屋を羽栗郡笠町に移す 笠町を笠松村と改称する
1663	3	笠松御貯糶が設けられる
1664	4	笠松の柳原でキリスト教信者が処刑される
1676	延宝 4	検地によって笠松村が成立する
1697	元禄 10	笠松の刑場(大臼塚)でキリスト教の信者が処刑される
1699	12	辻六郎左衛門守参が笠松陣屋に着任享保の改革を実施する
1746	延享 4	逆川が締切られる
1767	明和 4	掛廻堤の築堤を願い出る
1784	天明 4	畑繫堤の築堤を願い出る
1788	8	魚(肴)問屋の開業を許される
1798	寛政 10	大洪水があり、笠松地域の被害が大きい
1799	11	この頃、笠松村年寄は、惣年寄と称し苗字帯刀を認められる
1803	享和 3	笠松三郷に日掛銭の仕方を命ずる
1804	文化 元	村の有力者を、水防役にとりたてる
1804	文化 元	従來人馬問屋を、笠松村の庄屋が兼ねることになる

西 暦	年 号	事 項
1813	10	笠松村薪炭問屋の開業を認められる
1814	11	詩文や書画に優れていた山田訥齋が生まれる
1830	天保年間	この頃、美濃機留縞の生産が盛んになる 飢饉がひどくなり、有力農民が施粥などの救済をする
1831	2	高島久右衛門が水防役に命ぜられる この頃、小見山又吉・赤塚治左衛門も水防役を命ぜられる
1833	4	笠松村の大火
1834	5	笠松村で米会所が設立される 角田錦江が私塾“喬木塾”を開く
1836	7	新掛廻堤の築堤が決定する
1838	9	笠松新困蔵が新設される 真宗西派笠松別院創建する
1841	12	笠松村などの商人が物価の値下げを報告する
1859	安政 6	羽栗郡円城寺村棧留縞織屋、住吉屋岐阜出店の代金不払いにつき訴える
1860	幕 末	この頃より、笠松祭りの奉芸に大名行列を行う
1866	慶応 2	生糸並蚕種改所が設けられる
1868	明治 元	笠松裁判所および笠松県設置 笠松県御用会所に目安箱を置く 笠松県民心引立方御救助掛を任命 木曾川大洪水
1870	3	笠松に仮種痘所を設置する
1871	4	元笠松陣屋を岐阜県庁舎とする
1872	5	笠松の戸籍簿が完成する 郵便取扱所を笠松に設置する 笠松に陸運会社が現れる 育英義校(笠松村・徳田村・田代村)が設置される
1873	6	柳原が田代村から分離し、笠松村に合併する 敬恪義校(米野村・平島村など)設立する 笠松陣屋払下げ 求信義校(北及村)、藍氷学校(円城寺村)、博習義校(田代村)を設立する 笠松取締局が設置される
1875	8	笠松郵便取扱所が、三等郵便局に昇格する 敬恪義校より分離し、平島学校(米野村・平島村)を設置する
1877	10	岐阜警察署笠松分署と改称される
1878	11	笠松に天皇が行幸する
1880	13	大阪第二百二十六国立銀行笠松に支店開設する
1881	14	美濃縞会社が笠松に設立する 笠松銀行が創立される 笠松以東木曾川堤防組合水利土功会結成する
1884	17	戸長役場設置
1885	18	木曾川橋架橋の要望書が出される
1886	19	笠松でコレラ大流行
1889	22	笠松町が誕生する(市町村制施行) 町長: 平野九右衛門(～23年) 松枝村長: 赤塚権治郎(～24年) 下羽栗村長: 天野義策(～25年)
1890	23	町長: 田島正三郎(～25年) 御真影を笠松尋常高等小学校へ下賜
1891	24	松枝村長: 高橋清一(～26年)
1892	25	町長: 加藤助市(～26年) 下羽栗村長: 服部計太郎(～大正2年)

西 暦	年 号	事 項
1892	明治 25	笠松の演説会場で騒乱が起こる
1893	26	町長:角田節次郎(~27年) 松枝村長:赤塚治太郎(~30年) 笠松銀行開業する
1895	28	岐阜区裁判所笠松出張所が開庁される
1896	29	町長:伊藤代造(~44年) 濃厚銀行笠松支店開設する 美濃織組合ができる 未曾有の大洪水により被害を受ける 稀有の大暴風により被害を受ける 再度の大洪水により被害を受ける
1897	30	松枝村長:尾藤権右衛門(~42年) 笠松に自転車が入ってきた 松枝村・下羽栗村ができる(合併) 羽島郡役所設置される 美濃織が県の重要物点に指定される
1898	31	松枝輪中水害予防組合結成される
1899	32	笠松以東水害予防組合結成される
1902	35	笠松町消防組合が設置される
1903	36	松枝農業補習学校が小学校に附設される
1904	37	十六銀行笠松支店開設される
1906	39	笠松町役場庁舎を県町より現在地に移転改築する
1907	40	笠松に電話が開通する
1908	41	笠松小学校で工女の夜学教育を開始する
1909	42	松枝村長:広瀬弥十郎(~大正2年)
1910	43	木曾川橋ができ、渡橋式が行われる 松枝村の一部柳原を合併する
1911	44	笠松に電燈がつく
1912	大正 元	町長:巖田郁郎(~12年) 笠松銀行が名古屋銀行と合併して支店となる
1913	2	松枝村長:後藤利七(~昭和4年) 笠松町青年団が成立する
1914	3	美濃電気軌道により、新岐阜~笠松間に鉄道が開通される
1915	4	下羽栗村長:松原清一郎(~8年)
1916	5	蘇原銀行上本町に支店できる
1919		下羽栗村長:服部卯三郎(~昭和7年)
1921	10	御神木流しが行われる 竹ヶ鼻軽便鉄道により、西笠松~竹ヶ鼻間に鉄道が開通される
1922	11	笠松町商工会ができる 笠松町処女会が発会式をあげる
1924	13	町長:山脇準之助(~12月) 町長:加藤虎雄(~昭和9年)
1925	14	笠松少年団ができる 県立工業試験場が移転を完了する
1925	大正 14	柳津村の一部柳側町を合併する
1926	15	郡役所が廃止される 県立第一工業学校の開校式が行われる
1928	昭和 3	笠松町役場の竣工式が行われる
1929	4	松枝村長:高島善郎(~12年) 天皇陛下即位を記念し建てられた役場庁舎が完成する 竹ヶ鼻軽便鉄道が西笠松駅から終点大須駅まで延長される
1930	5	蘇原銀行が休業する

西 暦	年 号	事 項
1932	昭和 7	笠松婦人会ができる
1934	9	下羽栗村長:松原徳太郎(～18年) 笠松競馬が始まる
1935	10	笠松町都市計画法適用される 岐阜～名古屋間に名岐鉄道の直通電車が開通する
1936	11	町長:山本清之助(～21年) 笠松小学校講堂が完成する
1937	12	松枝村長:安達保直(～10月) 旧国道22号線の木曾川橋が架設される(現在の県道岐阜・稲沢線) 日本特殊毛織株式会社誘致決定 笠松土地改良区画整理開始 岐阜県綿織物工業組合結成
1938	13	松枝村長:高島善郎(～15年) 新町箕浦邸にいん石が落下する
1939	14	笠松警防団ができる 町常会結成
1940	15	松枝村長:安達保直(～21年) 笠松町町名・地番改正 岐阜県綿スフ麻織物協同組合結成
1941	16	岐阜県織物工業組合結成 御神木の川下りが最後となる
1942	17	笠松町忠霊塔竣工式
1943	18	下羽栗村長:河田浄暁(～19年) 笠松町参与設置 笠松土地区画整理事業が完了する 笠松競馬場が太平洋戦争勃発により中止となる
1944	19	下羽栗村長:松山信二(～21年) 大洋電機株式会社起工式 南栄土地区画整理事業が完了する
1945	20	笠松都市計画河港修築事業開始 笠松町国民義勇隊結成 第2次世界大戦でB29の爆撃を受ける
1946	21	町長:高木栄一(～26年) 下羽栗村長:森藤治郎(～22年) 天皇陛下が御巡幸される
1947	22	松枝村長:速水瑛一郎(～25年) 下羽栗村長:川出重治(～28年) 終戦により、第1回公営競馬が開催される 新学制施行(六・三制)により、笠松中学校を開校する 上羽栗村と下羽栗村で「組合立羽栗中学校」を開校する 松枝村と柳津村で「組合立蘇西中学校」を開校する
1948	23	格子なき牢獄という新しい構想で、「笠松女子職業学園」が設置される 公民館を設置する
1949	24	笠松女子職業学園が「笠松刑務所」と改称される
1950	25	松枝村長:樋口利逸(～7月) 松枝村を合併する
1951	26	町長:伊藤太八(～27年)
1952	27	町長:梅田啓一(～34年) 教育委員会が発足する 町総代および副総代の制度が誕生する
1953	28	下羽栗村長:松山信二(～30年) 広報第1号を発行する

西 曆	年 号	事 項
1953	昭和 28	下羽栗保育所を設置する
1955	30	市町村合併促進法により、下羽栗村と合併する 第一保育所を設置する 松枝保育所を設置する
1956	31	町史(上巻)を刊行する
1957	32	第一紡績株式会社岐阜工場を誘致する 町史(下巻)を刊行する
1958	33	上水道第一水源地が完成する 大阪毛織株式会社笠松工場を誘致する
1959	34	町長: 山本清之助(～38年)
1960	35	法人格の商工会が誕生する 笠松町公民館が完成する
1961	36	岐阜小野田レミコン株式会社を誘致する
1962	37	羽島用水路の完成
1963	38	町長: 梅田啓一(～42年) 田代土地改良事業の完成 岐阜市羽島郡衛生施設組合が事業を開始する
1964	39	東洋染色工業株式会社岐阜工場を誘致する 松枝簡易郵便局を松枝支所内に開局する 木曾川橋に歩道橋が架設される
1965	40	町章を一般公募により制定する 消防庁舎が完成する 西日本馬術大会が笠松競馬場において開催される 北部土地改良事業が完了する 岐阜国体が開催され馬術競技、バスケットボール競技の会場となる
1966	41	青少年愛護と交通安全の町を宣言する 学校給食センターが完成する 「羽島郡税務事務等共同処理協議会」が発足する 笠松小学校を改築する 上水道第二水源地が完成する
1967	42	中央公民館(八幡会館＝取り壊し)を移転改築する 桜町土地改良事業が完成する
1968	43	笠松児童館が完成する 「羽島郡消防事務組合」が発足する 笠松町役場庁舎を改築する 町長: 加藤文治(～47年)
1969	44	下羽栗小学校を改築する 国道22号線の新木曾川橋が架設される 木曾川遊園地が完成する 「羽島郡教育委員会」が発足する 笠松中学校を改築する
1970	45	羽島用水東西幹線完成 火葬場を改築する 厚生会館が完成する
1971	46	町民運動場が完成する
1972	47	町長: 青井逸雄(～55年) 下羽栗保育所を移転改築する 町民体育館が完成する 学校給食センターを移転改築する
1974	49	組合立羽栗中学校を廃止し「岐南町・笠松町中学校組合立岐南中学校」を開校する 中央公民館が完成する

西 暦	年 号	事 項
1974	昭和 49	松枝小学校を改築する 勤労青少年運動場が完成する 町の木に「松」を選定する
1975	50	総合計画を策定する 緑地公園が完成する 羽島郡消防事務組合本部庁舎が完成する 緑地公園内に交通広場を設置する
1976	51	美笠児童遊園地が完成する 下羽栗小学校を増築する 松枝保育所を移転改築する 上水道第三水源地在完成する 羽島郡教育委員会を羽島郡四町教育委員会と改称する 町民運動場にナイター設備が完成する 羽島郡東部土地改良事業が完了する 台風17号の集中豪雨により、大被害を受ける
1977	52	第一保育所を移転改築する 町総代を町内会長に名称を変更する 二見児童公園が完成する
1978	53	米野運動場が完成する 中野児童公園が完成する
1979	54	「羽島郡税務事務等共同処理協議会」を解散、岐阜県行政情報センターに業務委託 笠松小学校の講堂を改築する 松枝公民館が完成する 境川中部土地改良事業が完了する 江川運動場が完成する 下羽栗会館(学習等供用施設)が完成する 町民憲章が制定される
1980	55	町長: 杉山勇(～63年) 藤掛地内にランニングコースが完成する 献血奉仕活動に尽くした当町に、厚生大臣から感謝状が伝達される 木曾川畔で県主催の「羽島郡のあおぞら公聴」、郡内から約400人が参加する 寄贈された、町民憲章碑の除幕式が行われる
1981	56	上水道第一水源地に配水地が完成する
1982	57	福社会館がオープンする 松枝地域の南北幹線道路「町道五反田高坪線」が全面開通する
1983	58	笠松小学校の防音工事が完成する 上水道第四水源地在完成する 町民プールが完成する 「ふるさと笠松」を刊行
1985	60	笠松中学校の防音工事が完成する 勤労者体育センターが完成する 町民バスの運行開始
1986	61	中学校区が変更され笠松町全域が笠松中学校に通学となる 社会福祉法人社会福祉協議会が発足 運動公園が完成する
1987	62	トンボ池が県の名水に認定される 笠松中学校(西舎)に改築工事が完成する 緑地公園内にテニスコートが完成する 笠松中学校の防音工事が完成する
1988	63	町制施行100年を迎え、記念行事が行われる 笠松小学校プール改築工事が完成する 町長: 広江泰雄(～平成4年)

西 暦	年 号	事 項
1988	昭和 63	ぎふ中部未来博に大名行列が出演する 笠松中学校でNHK巡回ラジオ体操会が開かれる
1989	平成 元	笠松県庁跡記念碑が完成する 環境庁からトンボ天国が「いきものの里」に認定される 町公共下水道工事を開始する
1990	2	厚生会館改築工事が完成する
1991	3	北事務所が完成する 笠松競馬場でオグリキャップ里帰りセレモニーが開催される 笠松大名行列保存会発足
1992	4	町長: 岩田哲(～11年) 木曾川港公園完成する 心身障がい者小規模授産所完成する 第1回まちづくりイベント「リバーサイドカーニバル」が開催される
1993	5	笠松小学校パソコン導入する 青少年海外派遣事業(グアムへ中学生・高校生22名)開始 巡回町民バス及び福祉バスの運行開始
1994	6	乳幼児医療費助成(6歳まで)
1995	7	歴史民俗資料室を開設する
1996	8	スポーツ交流館が完成する 子育て支援センターを開設する 白川町と災害時における相互応援盟約を締結する 乳幼児・児童医療費助成(12歳まで)
1997	9	岐阜市との行政協力共同声明を発表 防災行政無線の本放送が開始される 笠松中学校プール改築工事が完成する
1997		情報公開条例を制定 岐阜市と各種証明書交付事務を相互委託する協議書を取り交わす
1998	10	笠松町コミュニティー消防センターが完成する 乳幼児・児童・生徒医療費助成(15歳まで) 上水道相互連絡管設置相互応援配水の協定を締結する(岐阜市・羽島市)
1999	11	緑会館が完成する 総合会館が完成する (財)笠松町地域振興公社を設立する 全国初、戸籍・除籍の謄抄本を相互発行(岐阜市) 町長: 広江正明(～令和元年) 上水道相互連絡管設置相互応援配水の協定を締結する(柳津町)
2000	12	福祉健康センターが完成する 住民票等各種証明書(戸籍・除籍の謄抄本、納税証明)の広域相互発行 (岐阜・西濃・中濃地域の44市町村)
2001	13	支所で「印鑑登録証明書」「戸籍謄抄本」「税証明」などの証明書交付開始 笠松郵便局と「廃棄物の不法投棄の情報提供に関する覚書」を締結 青少年海外派遣事業(ニュージーランドへ中学生10名)開始 南部コミュニティー消防センターが完成する
2002	14	羽島郡町村合併問題研究会を設置する 住民基本台帳ネットワークシステム開始 地域イントラネット基盤整備事業、新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業が完了
2003	15	北事務所に情報交流センターを開設する 岐阜市、羽島市、柳津町、武芸川町合併検討協議会へ参画 岐阜市、羽島市、柳津町、笠松町、北方町により岐阜広域合併協議会を設置 笠松中学校校舎耐震補強工事(東舎・南舎)完成
2004	16	特別養護老人ホーム リバーサイド笠松園が完成する

西 暦	年 号	事 項
2004	平成 16	「笠松町の合併についての意思を問う住民投票」の実施 岐阜広域合併協議会から脱退
2005	17	「笠松町行財政改革推進プラン」策定 笠松町消防団第3分団車庫が完成する 「笠松町交通バリアフリー基本構想」を策定する 「笠松町次世代育成支援地域行動計画」前期計画を策定する 緊急時情報伝達システム(あんしんかさまつメール)を開始する シーシーエヌ㈱と「災害時の放送に関する協定書」を締結する
2006	18	羽島郡三町教育委員会を羽島郡二町教育委員会に改称する 第一保育所を民営化する 岐阜県知事からトンボ天国が「ぎふ・ふるさとの水辺」の認定を受ける 小中学校に「光文庫」を創設する 公共施設に自動体外式除細動器(AED)の導入始まる 各小学校に放課後児童クラブを開設する 乳幼児健康支援一時預かり事業を開始する
2007	19	下羽栗保育所を民営化する 道徳のまちづくり条例を制定 従前の協定に代わり上水道相互応援配水の協定を締結する(岐阜市・羽島市・岐南町)
2008	20	松枝保育所を民営化する 水道料金・下水道使用料のクレジットカードによる納付制度を導入する 乳幼児健康支援一時預かり事業から病後児保育事業に名称を変更する
2009	21	瞬時警報システム(J-ALERT)を導入する 「笠松町男女共同参画プラン」を策定する 町生誕120年を迎え、記念行事が行われる 「かさまるくん・かさまるちゃん」誕生 杉山邸(国登録文化財)が寄付される 町の花「さくら」を制定 「笠松町次世代育成支援地域行動計画」後期計画を策定する
2010	22	笠松小中学校の校舎耐震工事完了 産業振興助成金・定住促進助成金制度を開始する 「松枝みなみ会館」を開設する(岐阜地方務局羽島出張所跡地) NPO法人笠松を語り継ぐ会が杉山邸の運営開始する
2011	23	「笠松町第5次総合計画」を策定する 笠松中学校防音事業完了
2012	24	笠松駅前広場バリアフリー化完了 歴史民俗資料館の入館者数が10万人達成する(4月15日) サイクリングロード一部開通する 岐阜国体が開催されグラウンド・ゴルフ競技のデモスポ会場となる はしま広域ファミリー・サポート・センター事業を開始する
2013	25	笠松町公式ホームページをリニューアルする かさまるくんナンバープレートの交付を開始する 笠松町多目的運動場が完成する
2014	26	笠松中学校新屋内運動場が完成する 笠松町公共施設巡回町民バス新型車両が運行を開始する 「笠松町子ども・子育て支援事業計画」を策定する
2015	27	町税のコンビニエンスストア収納事務を開始する 庁舎耐震工事完了 歴史未来館が完成する(6月6日) 「笠松町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定する 埼玉県比企郡滑川町と災害時相互応援協定を締結する 笠松町水防センターが完成する 笠松中学校とイナラハン・ミドル・スクールが姉妹校提携締結(12月11日)
2016	平成 28	笠松町運動公園に大型複合遊具「かさまるくん」が完成する

西 暦	年 号	事 項
2017	29	<p>防災行政無線屋外スピーカーを33箇所に増設する</p> <p>サイクリングロード中継地点が完成</p> <p>笠松刑務所と災害協定を締結する</p> <p>岐阜大学と連携に関する協定を締結する</p> <p>和田家住宅主屋・土蔵・門及び堀が国の登録有形文化財(建造物)に登録される</p> <p>岐阜市と山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町がそれぞれ連携中枢都市圏形成に係る連携協定書を締結する</p>
2018	30	<p>西日本電信電話株式会社岐阜支店と特設公衆電話の設置等に関する覚書を締結する</p> <p>笠松町土地開発公社が岐阜県知事より解散認可を受ける</p> <p>学校給食センターを移転改築する</p> <p>歴史未来館がリニューアルオープンする</p> <p>町制施行130年を迎える</p> <p>公共施設巡回町民バスの累計利用者200万人を達成する</p>
2019	31	<p>笠松町サイクリングロードが全線開通する</p> <p>子育て世代包括支援センターを開設する</p>
	令和 元	<p>町長: 古田聖人(～現在)</p>
2020	2	<p>子ども家庭総合支援拠点を設置する</p>
2021	3	<p>岐阜連携都市圏に羽島市が加入</p> <p>ごみの有料化を開始する</p>
2022	4	<p>新こども館「かさくら」が完成</p> <p>(株)かます東京と連携に関する協定を締結する</p> <p>役場窓口でのキャッシュレス決済サービスを開始する</p>
2023	5	<p>岐阜大学との「健康増進事業」共同プロジェクトを開始する</p> <p>中学生を対象に「北海道新ひだか町派遣研修」を実施</p>
2024	6	<p>小学5、6年生を対象に「三重県志摩市派遣研修」を実施</p> <p>(株)鷲見製材(ひだまりほーむ)とかさまつまちづくり共創パートナーの協定を締結する</p> <p>(株)十六フィナンシャルグループとかさまつまちづくり共創パートナーの協定を締結する</p>
2025	7	<p>小学5、6年生を対象に「三重県志摩市派遣研修」を実施</p> <p>(株)義津屋とかさまつまちづくり共創パートナーの協定を締結する</p> <p>(株)大垣共立銀行とかさまつまちづくり共創パートナーの協定を締結する</p>